

【大玉村】 校務 DX 計画

福島県が県域でドメイン運用する Google Workspace（汎用クラウドプラットフォーム）である FCS（ふくしまクラウドサービス）を活用し、校務 DX に向けた取組を推進している。

また、文部科学省が定める「GIGA スクール構想の下での校務 DX チェックリスト」及び福島県教育委員会が定める「教職員働き方改革アクションプラン」等を踏まえ、継続して校務の DX に向けた取組の改善等を行う。

1 ゼロトラストセキュリティの実現と教育情報セキュリティポリシーの策定

校務系と学習系で異なっているネットワークを一本化し、接続するネットワークを問わずに校務処理等が実施できる環境の実現に向け、ゼロトラストセキュリティを採用した新たなネットワークシステムへの切り替えへの検討を進める。

また、ゼロトラストセキュリティの採用に伴い、クラウド活用を前提とした校務環境等に対応するための教育情報セキュリティポリシー策定に向け、併せて検討を進める。

2 FCS を活用した学校等への発出文書の削減

県では、教職員働き方改革アクションプランに基づき、FCS のデータ共有機能を活用した発出文書削減に努めている。本村でも、全教職員が FCS を活用しており、その有効活用を促すとともに発出文書削減による事務負担の軽減等を図る。

3 校務における生成 AI の利活用

文部科学省が示す「初等中等教育段階における生成 AI の利用に関する暫定的なガイドライン」を遵守した上で、校務での利活用を検討する。

4 次世代型校務支援システムの導入検討

本村では、令和 2 年度より、県が推奨する統合型校務支援システムを利用している。県では今後、文部科学省が示す「パブリッククラウド上で運用できる次世代型校務支援システム」の導入を検討するための情報収集、さらには県内各市町村との導入に向けた協議も検討している。今後、県の動向をみながら次世代型校務支援システムの導入について検討する。